

# 大坂城

2022  
7/11 (月)  
14276号

全巻  
西成分会

2247  
6647-  
4947

歌年の吉田拓郎(76歳)が、今日で現役をやめる  
という。縁はないのだけいど、作詞をする、死んで  
しまったが岡本おさめが、今は閉まったセンターの  
真中のイコーの茶店があったあたりの階段で少し  
話すことがあった。せう30年以上も前のことだが、  
このビラ「大坂城」を牛にとって見ながら、一行で  
万人を卸させる書き方、教えてやるのにな……とか  
センターに落ちていった吸差しのタバコを捨てるあげ、  
火をつけて吸ってやりとり、少し無理をしていたが、  
階段の真中あたりに座より話したことがある。

森進一の襟裳岬や拓郎の洛陽の作詞をしたのが  
米子生中の岡本おさめという。この歌を書いた  
ようだ。

理由のわからぬことで悩んでいろいろ老いぼれてしま  
うから……とか、洛陽では、苦小牧、仙台行きフェリー  
あのじいさんときたら、うめがや、見送ってくれたよ、おまけに  
テープもひろうってね、女の子めたいにさ、みやげにもらった  
サイコロふたつ、牛の中でふればまた振り出しに、戻ると  
旅に陽が込んでゆく女や酒よりサイコロ好きです、そんな  
てんのあのじいさんあんたこそが正直者さ、この国ときたら  
賭けるものな、じいさん……と岡本おさめが書きき、  
吉田拓郎が歌った日本はまだ良かったかもしれない、  
十の半導体が、おめく、デジタルの敵、日本、弱者ふみつけ  
政治の日本に、変化してきています。

# 「戦後」ジュームの脱却は「戦争とテロ」の入口

# 安倍晋三凶弾に倒れる

「ひとり一殺」の戦前のテロルがよみがえる？

先日選挙遊説中の安倍元総理大臣が白昼元自衛官に手製の拳銃で射殺され日本中にまた世界中に大きな衝撃を与えています。

事件の詳細・犯人の動機などはまだまだ不明ですが「単独犯行説」が盛んに流され特定の主義主張と関係ない「個人的恨みの犯行」という方向で情報ができていますが、本当にそうなんだろうか？

話が出来過ぎていて簡単には納得しづらい感じがします。演説日程が急きよ前日変更され「犯人の家の近く」なんて偶然がそんなに重なるものだろうか？

母親が〇〇協会の寄付で破産したので関係の深い安倍を殺すとかいう三文小説みたいなこと本当なのだろうか？

## テロルはどこに向かうかわからない

今回の警備当局・安倍陣営・自民党選対などは優勢と言われているし、政治的右派のスタンスに立っている関係で「テロの対象でない」と甘くみていた面もあった気がします。大変な時代になっていきます。